

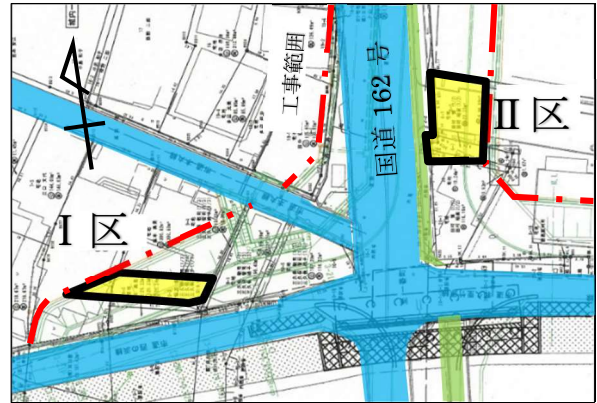
令和3年度 小浜城跡発掘調査 現地説明会資料

主催：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

協力：株式会社ワカサコンサル

1 調査概要

調査原因	一般国道 162 号道路改良事業
調査主体	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
委託会社	株式会社ワカサコンサル
調査期間	令和3年（2021）6～8月
調査地	小浜市城内1丁目
調査面積	I区：90㎡ II区：140㎡ （調査総面積：510㎡）

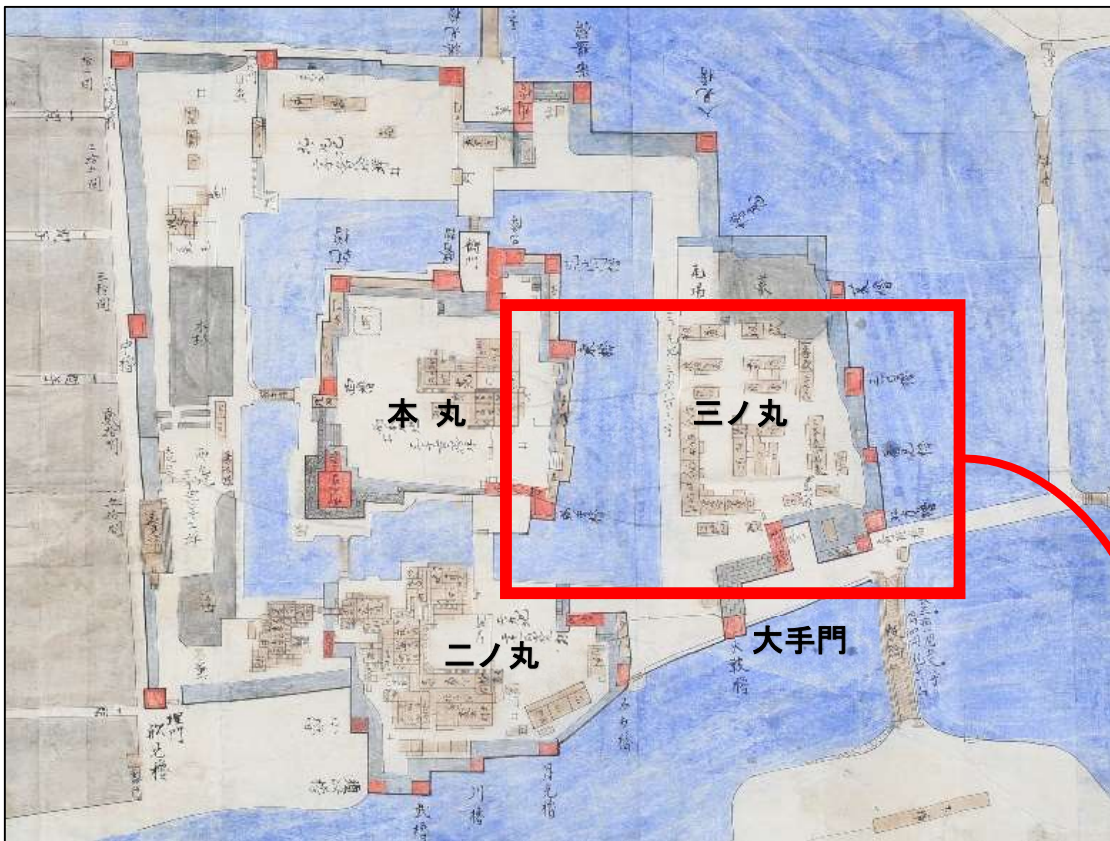


令和3年度の調査区

2 小浜城年表

- 1600年 関ヶ原の戦い。京極高次きょうごくたかつぐ小浜藩主となる。
- 1601年 後瀬山城のちせやまを廃城し、小浜城の築城を開始する。
- 1607年 天守閣は存在しないが、小浜城の縄張りが完成する。
- 1609年 京極高次きょうごくたかつぐ死去。息子京極忠高きょうごくただたかが2代小浜藩主となる。
- 1624年 敦賀郡つるがぐんが小浜藩となる。
- 1634年 京極忠高きょうごくただたか、出雲松江いずもに転封し、川越かわごえの酒井忠勝さかいただかつが小浜藩主となる。
- 1635年 幕府より天守閣造営の許可が下りる。
- 1636年 天守閣が完成する。
- 1642年 大手門おおてもんを築造する。
- 1644頃 三ノ丸の米蔵さんのまるはこのころ整備されている。
- 1645年 本丸多門櫓ほんまるが完成する。
- 1655年 各建物の屋根の葺き替えを行う。
- 1662年 大地震。石垣いしぐんが崩壊するなどの被害を受ける。
- 1766年 二ノ丸にのまるを修築する。
- 1794年 洪水があり、小浜城大手が被害を受ける。
- 1871年 大阪鎮台第一分営ちんだいだいいちぶんえいを建設中に火災し、大半の建物が焼失する。
- 1872年 城内通行のために、本丸東側の石垣ほんまるが破壊される。
- 1874年 天守閣が解体される。
- 1875年 小浜神社が創建される。

3 絵図との比較



小浜城絵図（部分）

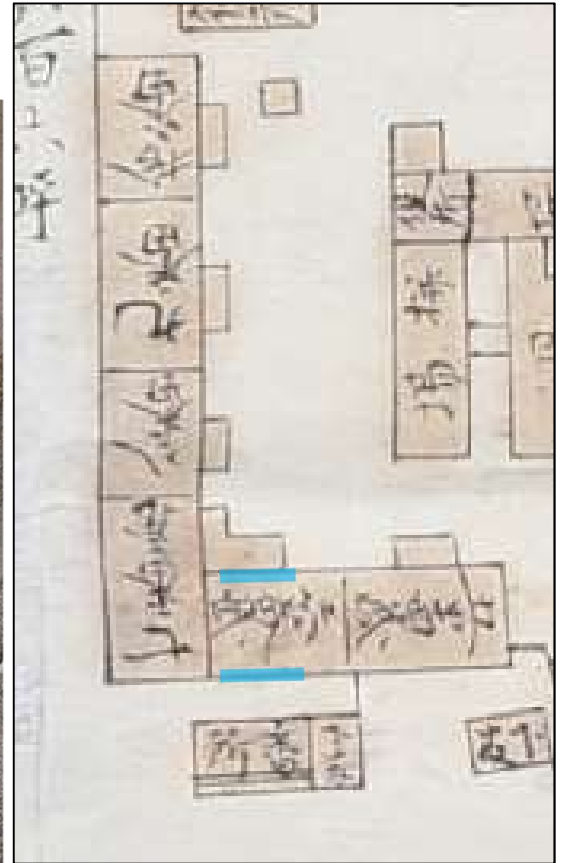
[提供：福井県立若狭歴史博物館]

赤枠を
拡大



※黄色で示した範囲は今回の調査範囲と推定される場所

4 II区で見つかった六番蔵に伴う石垣



※青色の箇所が左写真の石垣と推定される。

石垣を横からみたものです。
花崗岩という硬い石を割って、
石垣は作られています。
石を割る際の「矢」(矢とは金
属のくさびのようなものです)
を打ち込んだ穴(矢穴痕)が
よく残っています。

酒井家の時代の石垣(約380年前)



5 出土した越前赤瓦について



←小浜城跡出土越前赤瓦

小浜城の発掘調査では、赤い瓦と黒い瓦の2種類の瓦が出土しています。黒い瓦は若狭（地元）の瓦ですが、赤い瓦は越前（福井）の瓦です。

小浜城で使われている瓦は、これまでは小浜藩の中で作られた瓦だけが使われていると考えられていましたが、この瓦が見つかったことにより、福井（越前）で作られた瓦が小浜藩でも使われていることがわかりました。



←福井城跡出土越前赤瓦（参考）

福井城で見つかった越前赤瓦です。江戸時代の中でも古い時代のもので、今から350年ほど昔のものと考えられています。

これと同じ文様の瓦は、越前町の平等たいらに存在するかまあと窯跡から見つかっています。

6 まとめ

小浜城跡の発掘調査は、今年で4年目となります。

今年度の調査区は2区に分かれています。I区は、絵図によると本丸の堀の中に該当します。II区は、絵図によると三ノ丸の六番蔵に相当する場所となり、実際の調査でも、六番蔵に伴う石垣を確認しました。

また、貴重なものとして越前赤瓦が出土しました。小浜城において越前赤瓦が使用されたことが判明し、越前国外で越前赤瓦の出土例は、金沢城（石川県金沢市）について2例目となります。